

英語科学習指導案

日 時 平成30年10月16日(火)
14:00~14:50
展開学級
展開場所
授業者

単元名 NEW CROWN 1 Lesson5 Our New Friend

1 単元の目標

- (1) Who, Where, When を用いて、間違いを恐れずに、積極的に友達に質問したり、答えたりすることができる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) Who, Where, When を用いて、友達や家族について問答することができる。
(外国語表現の能力)
- (3) Who, Where, When の疑問文や、him / her などを含む対話文を読んで、その内容を読み取ることができる。
(外国語理解の能力)
- (4) Who, Where, When の疑問文や、him / her などを含む対話文を聞いて、その内容を聞き取ることができる。
(外国語理解の能力)
- (5) Who, Where, When の疑問文や、him / her などの代名詞に関する知識を身につけている。
(言語文化についての知識・理解)

○本単元の指導に当たっての考え方

本単元は、メイリンが丘先生に見知らぬ人物について質問する場面である。さらに、その転校生ラージにメイリンが学校の先生の名前を教えたり、放課後にラージがエマに音楽部について聞いているという内容になっている。そこで、人についてたずねる疑問詞 Who や時や場所についてたずねる疑問詞 When, Where を学習する。また、人称代名詞 him/her も合わせて学習する。小学校の外国語活動で、生徒たちは'Hi, friends'を使用して疑問詞 Who や When, Where をすでに学習しているので、本単元ではそのことを踏まえて、これらの疑問詞の使い方をより深く学習できるようにしたい。

本校の CAN-DO リストの形での学習到達目標では、1 学年『話すこと（やりとり）』において、『日常生活について必要な情報や個人的な事柄について質疑応答ができる』となっている。また、『書くこと』において、『自分自身の気持ちや身近なことについて短い英文を書くことができる』となっている。授業では、表現の能力を高めるために、普段からペアワークや友達同士のインタビュー活動を行ったり、既習の文法事項を用いたライティング活動を行っている。本単元でも、今までの学習活動を継続して話すこと（やりとり）や書くことの活動につなげていきたい。

2. 生徒の実態

3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①間違いを恐れず、積極的に友達同士で質問したり答えたりしている。	①Who, Where, When の疑問文や him/her などの代名詞を含んだ文を使って、質問することができる。 ②Who, Where, When の疑問文や him/her などの代名詞を含んだ文を使って、質問や答えの文を書くことができる。	①Who, Where, When の疑問文や him/her などの代名詞を含む会話を聞いて、その内容を聞き取ることができる。	①Who, Where, When の疑問文や him/her などの代名詞に関する知識を身につけている。 ②Lesson5 で扱われた単語や表現についての知識を身につけている。

4 指導と評価計画（10時間扱い）

時間	○ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1 <u>本時</u>	○人についてのたずね方を理解し、使う。 ・Who is this boy? He is my brother. ・Who are these boys? They are my classmates.	アの① イの①②	活動の観察 ワークシートの点検
2	○GET Part 1 の本文の内容を理解する。 ・本文の対話文を聞き、その内容を大まかに理解する。 ・新出単語を十分に練習する。 ・本文の音読をし、その内容を読み取る。	ウの① エの②	後日 ペーパーテスト
3	○Practice のページを行い、GET Part 1 で学習した文法事項の理解を深める。 ・新出単語を十分に練習する。 ・Listen ⇒ Speak ⇒ Write の順に実施する。	イの② ウの①	ワークシートの点検
4	○him/ her の用法を理解し、使う。 ・Do you know that man? No. I don' t know him. ・Tell me about your favorite (sport/color/fruit and so on.)	アの① イの①②	活動の観察 ワークシートの点検
5	○GET Part 2 の本文の内容を理解する。 ・本文の対話文を聞き、その内容を大まかに理解する。 ・新出単語を十分に練習する。 ・本文の音読をし、その内容を読み取る。	ウの① エの②	後日 ペーパーテスト
6	○Practice のページを行い、GET Part 2 で学習した文法事項の理解を深める。 ・新出単語を十分に練習する。 ・Listen ⇒ Speak ⇒ Write の順に実施する。	イの② ウの①	ワークシートの点検
7	○時や場所についてのたずね方を理解し、使う。 ・When do you play tennis? I play it on Sunday. ・Where do you practice kendo? I practice it at school.	アの① イの①②	ペーパーテストの実施
8	○GET Part 3 の本文の内容を理解する。 ・本文の対話文を聞き、その内容を大まかに理解する。 ・新出単語を十分に練習する。	ウの① エの②	後日 ペーパーテスト

	・本文の音読をし、その内容を読み取る。		
9	○Practice のページを行い、GET Part 3 で学習した文法事項の理解を深める。 ・新出単語を十分に練習する。 ・Listen ⇒ Speak ⇒ Write の順に実施する。	イの② ウの①	ワークシートの 点検
10	○まとめ ・単元テストの実施	エの①②	単元テスト

5 本時の指導計画

(1) 本時の目標

○Who を用いて友達に質問したり、その質問に答えたりすることができる。(外国語表現の能力)

(2) 本時の展開

過程	学習内容と生徒の活動	指導上の留意点	評価
あいさつ (2分) 英語の歌 (3分)	○起立をし、英語であいさつをする。 T: Good afternoon, everyone. S: Good afternoon, Mr Tatsuta. / Yhumay sensei. T: How are you today? S: I'm fine, thank you. And you? T: I'm fine too thank you. ○起立したまま、英語の歌(Day Dream Believer)を歌う。	・英語の授業の雰囲気作りをする。 ・教師も生徒と一緒に歌う。	大きな声を出せていたか。
ウォームアップ (5分) Line Game	○曜日、日付、天気を答える。 ○教師の質問に積極的に答える。 Ex. Are you a soccer player? Do you watch TV every day? What food do you like? and so on.	・曜日、日付、天気を質問する。 ・既習の英文について生徒に質問する。	
導入 (3分) T-T Demo	○2人の教師の対話を聞き、どんな内容だったか考える。 ALT : Hi, Mr Tatsuta. What do you have in your hand? JET : I have a picture of my brothers and sisters. ALT : Oh! Please show me. JET : OK. ALT : Who is this boy? JET : He is Yasuhiko. He likes baseball. ALT : Who is this girl? JET : She is Yae. She is good at playing the flute. ALT : I see. JET : Oh! You have something in your pocket. What do you have in your pocket? ALT : I have a picture, too. I'll show you. JET : Who is this girl? ALT : She is my sister, Yurika. JET : She is very cute. ALT : Thank you.	・注意深く聞くように指示する。	
展開① (7分) Oral Practice	人物がだれかわからない時、友達に質問したり、その質問に答えたりすることができる。 ○本時のターゲットセンテンスを確認し、口頭練習する。 A : Who is this boy? B : He is my brother. ○Who is~?の質問に対して、わかったら挙手して答える。 (芸能人、スポーツ選手、Hi, friends の登場人物)	・本時の目標を黒板に示す。 ・テレビに人物を1人ずつ映しながら Who is~? で質問する。	

過程	学習内容と生徒の活動	指導上の留意点	評価
展開② (3分) Pair work	○ABカードを見ながら、となりの人に Who is～?で教科書の登場人物に関するクイズを出題する。 (1ヒントずつ Who is～?で質問する。) Ex. ①He is a boy. Who is this boy? ②He is from the USA. Who is this boy? ③He likes baseball. Who is this boy? <u>Ans. Paul Green</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・2列ごとにABカードを配り、ALTと実演しながらやり方を説明する。 ・Who is～?の疑問文に十分に慣れさせる。 	
展開③ (22分) 人物あてクイズ作り Group work	○4人班を作り、ある有名人についてヒントとなる英文を作る。 ⇒班で協力してヒントに適した英文を3つ作る。 ⇒班の全員がその英文を言えるように班で練習する。 (グループワーク) ○教師の指示した班に移動し、その班で1人ずつクイズを出題する。⇒4人とも出題し、他の人が答えたら終了! (1つ答えられたら1ポイントとする) ⇒ポイント制	<ul style="list-style-type: none"> ・有名人の写真とヒントカードを配り、やり方を説明する。 ・机間指導し、英文が書けているか確認する。 ・ALT, JETの2人で机間指導する。 ・終了後、獲得したポイント数を確認する。 	Whoを用いて友達に質問したり答えたりすることができたか。
まとめ 振り返り (5分)	○ALTの質問に英語で答える。 T: Who is this boy (girl)? S: He is～./ She is～. ○ワークシート裏面の空所補充をやる。 ○CAN-DOリストで振り返りを行う。 ○次時の授業内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの好きなマンガのキャラクターをテレビに映し、Who is～?で質問してもらおう。 ・机間指導し、チェックする。 	Whoの疑問文とその答え方がわかったか。

(3) 本時の評価

○Whoを用いて、友達に質問したり、その質問に答えたりすることができたか。